

視聴覚教育

NO. 449

発行日

R01.6.3

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

ディーラーニング

人間の脳神経回路を模したネットワークを組み立てることで、コンピュータ自らが、多くのデータの特徴を捉え、より正確で能率的な判断をする技術。この技術を用いた「アルファ碁」は、人間のプロ棋士に勝利した。このディーラーニングの技術は、様々な分野での活用が期待されている。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ

令和元年度学習情報部方針

研究主題

情報活用能力を生かして、超スマート社会を能動的な学び手として生きる子供の育成

研究の重点

①【各教科・領域の授業で横断的に進める 情報活用能力の育成】

超スマート社会を能動的な学び手として生きるために必要な、子供の情報活用能力育成の研究

②【各教科・領域の授業における 効果的なICTの活用】

ICTの効果的な活用を通して、

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究

③【教師のICT活用指導力の向上と、 効率的な校務の実現】

教育情報化に対応する教師のICT活用指導力の向上とICT活用による効率的な校務の実現

各主任部会の活動

〔広報部会〕

・各種調査の実施と調査結果や分析の広報

・学習情報部メールマガジンの配信

・月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発刊物の編集協力

〔授業研究部会〕

・ICTを活用した授業実践の研究

・岡崎市プログラミング学習モデルカリキュラムの実践と報告

・授業におけるタブレット端末の効果的な活用法の研究

・情報モラル指導や各種機器・コンテンツを活用した実践と報告

〔研修部会〕

・教師のICT活用指導力向上に向けた研修の計画・実施

・教育の情報化に関する先進校の取組の研究

情報活用能力が拓く新時代

現職研修委員会学習情報部長 名倉 嘉章

新しい元号、令和の時代が始まりました。令和には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められています。各学校におかれましては、「子供たちが、主体的な活動を通して仲間と対話し、互いの心を寄せ合う」という、新しい時代にふさわしい教育活動が、着実に営まれていることと思います。

さて、新学習指導要領の完全実施が、小学校では来年度、中学校では再来年度と迫ってきました。この新しい学習指導要領では、情報モラルを含めた情報活用能力を、言語能力や問題発見・解決能力と共に、全ての学習の基盤となる資質・能力として位置付けています。さらに、小学校では、情報活用能力の一つとして、プログラミング的思考の育成が、必須の課題として掲げられました。そして、子供たちの情報活用能力育成という大きな課題に向け、教師がICTを活用して学習活動の充実を図る必要があるということが明記されています。

本年度、小学校に「岡崎市プログラミング学習モデルカリキュラム」が配付され、プログラミング学習が本格的に始まりました。また、中

学校では、この夏に新たにタブレット端末（Pc）の導入、教室内無線LAN整備が行われます。子供たちの情報活用能力を育成するための環境は、小・中学校ともますます充実してきました。

新しい時代を生きる子供たちのために、私たち教師は、こうして整備された環境を活用しない手はありません。プログラミング学習では、教科のねらいを達成しながら、論理的思考力を働かせて課題解決する力を養うことができます。さらに、タブレット端末の一層の活用により、子供たちの思考を可視化し、対話的な学びを通して深い学びへと導くことができます。令和が始まるまさに今こそが、新しい時代に向けて新しい授業作りを進める大きなチャンスなのです。

これからは、人類がAIと共に生きる新しい社会になると言われています。こうした未来を生きる子供たちに、情報活用能力を駆使しながら、人間だからこそ生み出せる豊かな想像力で、新しい価値を創造していくような力を育むことが、私たち教師の責務であると考えます。

人々が美しく心を寄せ合う新時代、令和。岡崎の先生方の本年度の取組により、子供たちがICTという手段を基に、学校で共に学ぶ仲間たちと心を寄せ合いながら、深い学びを達成できることが、大きく期待されます。

Ⅱ令和元年度 学習情報部組織Ⅱ

部長

名倉 嘉章（新香山中）
本間 茂夫（男川小）
小田 哲也（羽根小）
森 竜師（竜谷小）

教育委員会担当

村田 貴志（総務課学校情報係専門主事）

視聴覚ライブラリー

内田 雅之（所長補佐）

指導員

近藤 雄一（六南小） 河合 泰宏（山中小）

世話係

杉山 康子（六北小） 鈴木 広樹（額田中）

各部世話係

〔広報部会〕

鈴木 広樹（額田中） 太田 尚志（北 中）
石谷 遼一（生平小） 渡邊 智文（大樹寺小）

〔授業研究部〕

杉山 康子（六北小） 高瀬 玲子（愛宕小）
鈴木奈穂子（新香山中） 中山美奈子（竜南中）
藤渕 俊旭（矢北小） 鈴木 俊宏（北野小）

〔研修推進部〕

成瀬 正和（緑丘小） 水野 利明（矢作中）
鈴木 一史（竜海中） 服部 将也（梅園小）



各種大会・研究会の案内

《研究会》

- ・三教研ICT活用研究会
（八月二日・岡崎市シビックセンター）
- ・県放送教育特別研究会
（八月二十三日・ウインクあいち）
- ・県学校視聴覚教育研究大会
（十月三十日・豊橋市立二川南小）

《研修会》

- ・授業力・教師力アップセミナー
（基礎編）（七月三十日）
- ・学習情報部自主研修会「TAV」
（六月、八月、二学期の三回）

《研究論文》

- ・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞
（六月十三日締切）
- ・ICT夢コンテストへ日本教育情報化振興会主催
（応募期間 六月一日～九月二十日）
- ・パナソニック教育財団実践研究助成（例年一月下旬締切）
※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。
す。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・キューブ活用コンテスト
- ・「コラボミュージアムCity作品づくりコンテスト」
- ・RISO「プリントコミュニケーションひろば」など
- 《児童・生徒のコンクール》
- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・アジア国際子ども映画祭
- ・日本こども映画コンクール
- ・パナソニックKWN日本コンテスト など

ライブラリーだよ

所長

中村 耕

所長補佐

内田 雅之

職員

鳥居 貴浩 岩尾 誠
西村 知江 鶴田 真紀



新元号の下で視聴覚ライブラリー職員一同引き続き皆様のお役にたてるよう頑張ります。初回は視聴覚ライブラリーからの学校教育関係者を対象とした支援内容を紹介いたします。

●教材の貸出し

貸出用教材をDVDから16ミリフィルムまで四千本以上保有しています。授業の他、各種行事や昼の校内放送用として御利用ください。検索・予約は各校へ配付される教材目録の「利用者用マニュアル」を御参照ください。

●映像の編集・制作に関する支援

視聴覚ライブラリーは、学校での映像制作や編集に関し様々な支援を行っています。撮り取りビデオカメラの貸出、編集技術の指導、デュプリケーターを用いたDVD・CDの複製（著作権上問題のないもの）などです。

●情報モラル出前講座

児童・生徒や保護者を対象に、情報モラルに関する講習会を随時行っています。ネット社会の危険な面を紹介したり、トラブル回避の具体的な方法について説明したりします。申込用紙は視聴覚ライブラリーHPからダウンロードできます。興味のある方は、まずお電話ください。（23-6789）